

大神楽VS鬼ヶ嶽 1敗対決制す

紙相撲新聞

第166回本場所
中日～七日目号

編集・発行
日本紙相撲協会

終盤の横綱総当たり戦が正念場に

横綱戦を終えた綱乃花にもチャンスが

【第百六十六回本場所中日～七日目】

月も変わり秋も深まりはじめ少し寒さを感じる11月3日に中盤戦の中日と七日目の取り組みが行われた。

五日目まで1敗の7人が優勝争いを引っ張る展開だったが、中日には4人となり七日目の相星決戦を制した横綱大神楽、平幕麒麟王の2名が優勝争いの先頭に立ち、横綱西神門をはじめとする8人の2敗力士が負う展開と変わり残り4日間の後半戦に進むこととなった。



↑七日目、大神楽は左を差し最後は落ちそうになりながらも赤房下に寄り切り6勝目。1敗を守り、第162回場所以来4場所ぶりの優勝を目指す。

↓平幕の1敗同士の対戦は、麒麟王が合口の良さから、実力三役の烏帽子岳をお株を奪う喉輪からの押し倒して倒し、好調さをアピールした。



西神門●(寄り切り)○鬼ヶ嶽

先場所得意の左を差しながらも一歩攻めきれず、調子が心配されていた横綱大神楽。その先場所とは打って変わり左を差してからの速攻が冴えて今場所。



月山●(寄り切り)○大神楽

は好調の七日目鬼ヶ嶽との1敗同士の一番。流石に好調な相手だけに立ち会いから互角の攻防だったが、土俵を半周

すると右へいなし素早く左を差し最後は落ちそうになりながらも赤房下に寄り切り1敗を守った。

得意の右攻めで白星を重ねる前頭10枚目の麒麟王。中日の対戦相手は同じく1敗の出羽翼との一番。

立ち会いで先手をとり相手の出足を止めると、右ののど輪を決め抵抗させる事なく力強く押し倒しに下す。翌七日目にも烏帽子岳との1敗同士の対戦となった。

この一番でも立ち会いから左へ回り込もうとする烏帽子岳に対し、土俵中央からのど輪を差し込み、土俵際へ押し込み体を預けるように押し倒しに優り平幕ながら1敗で大神楽とともに優勝争いの先頭に立った。八日目には力士への挑戦となるか。



麒麟王○(押し倒し)●出羽翼

一敗 大神楽、麒麟王
二敗 西神門、千代鈴、鬼ヶ嶽
白閃光、綱乃花、佐賀海、音柱
烏帽子岳

結果1敗だった役力士の結果は西神門が鬼ヶ嶽に、千代鈴は佐賀海に、2横綱はとも中日に敗れ、関脇鬼ヶ嶽は七日目に大神楽との相星対決に敗れ、それぞれ2敗に後退。



綱乃花○(押し倒し)●西勢里

小結綱乃花は連勝して2敗を守った。新関脇の月山は3勝、小結の英茂は7敗、新小結の西勢里は2勝と苦戦を強いられている。



綱乃花○(引き落し)●剛勇山



千代鈴●(引き落し)○佐賀海



春ノ翔●(引き落し)○月山

春ノ翔は七日目の月山に不覚を取り3敗目を喫した。

中盤戦の七日目までを取り終えて、横綱大神楽、平幕の麒麟王が一敗で先頭に立ち、2敗で横綱西神門、横綱千代鈴、関脇鬼ヶ嶽、小結綱乃花、平幕の佐賀海、音柱、白閃光、烏帽子岳の8名が負う展開で迎える後半戦。

残り4日となり横綱陣はトーナメント戦が始まる。大神楽が先頭を守り続けるのか。麒麟王の対戦相手は？2敗の平幕陣は星の潰し合いになるのは必至。

果たして優勝争いの展開や如何に。残り4日間の土俵から目が離せない！いよいよ後半戦に進む次開催は、2週間後に迫る11月16日に開催予定、全国の紙相撲ファンの皆様乞うご期待！

(香具山)